広報 やまと

9月号
2016 No.247

鹿児島県・市町村合同企画
おもてなし

もくじ

02-03　特集①：第25回ひらとみ祭り開催
04-05　特集②：鹿児島県・市町村合同企画
06-07　特集③：神々が行き交うシマの夏
08-10　村の話題：今里豊年祭、ほか
11　連載：ワンダー奄美（地域おこし協力隊通信）
12　連載：どぅくさむんがたり（大和診療所だより）
13-14　お知らせ
15　連載：島の宝、ほか
16　連載：大和村産業遺産

特集 第25回

ひらとみ祭り

③

②

①

④

⑤

⑥

①つむぎんちゅのお二人
③長渕剛ならぬエラブチ剛さん
④大和村バンドの皆さん
⑤保育所生によるみこしパレード
⑥ロイヤルフラ仲山教室の皆さん

第25回ひらとみ祭りが、大和村連合青年団の主催により9月4日に思勝港周辺で開催されました。25回目の今年、2週にわたる台風の接近により、祭り延期の末に舟漕ぎ大会は中止に。しかし青年団および関係者の熱意が届いたのか、当日は天候も持ちこたえ、会場を訪れたおよそ2千人が奄美群島最後の夏祭りを楽しみました。

リラックスした雰囲気のなか、空が暮れていくのを眺めつつ、祭りは進みます。島唄ユニット「つむぎんちゅ」の麓和幸さんと肥後陽子さんによる司会進行のもと、保育所生によるみこしパレードや、バンド演奏、フラダンス、物まね歌手のステージなど、多彩なゲストが会場を沸かせました。なかでもフィナーレに迎えた演歌歌手の松原のぶえさんの歌謡ショーは圧巻。多くの来場者が心待ちにしていた松原さんの姿が舞台上に現れると、あちこちで歓声があがり、圧倒的な歌唱力と軽快なトークで多くのファンを魅了しました。

また、大和村観光大使第2号の任命式もあわせて開催され、大和村ゆかりのつむぎんちゅのお2人に委嘱状と名刺が贈呈されました。麓さんは「高校生の時から島を何とかしたいと思って活動してきた。大和村を全国、全世界に発信していきたい」、肥後さんは「島を離れて初めて島の魅力に気がついた。いろんな事に挑戦して、大和村をPRしていきたい」とコメント。その後行われた島唄ステージでは熱い演奏に会場からアンコールが飛び交いました。

晩夏の空を彩った2千発の花火の余韻もつかの間、季節は豊年祭の秋へと移ります。

黒糖焼酎の歴史

焼酎の伝来経路には諸説ありますが、その一つに、約500年前にタイから琉球を経て、奄美群島、薩摩へというルートがあります。黒糖焼酎の原料である、黒糖（サトウキビ）は今から400年ほど前に、奄美大島の直川智（なおかわとも）が中国から密かにサトウキビの苗３本を隠し持って帰ったことから始まったようです。

黒糖焼酎は江戸時代から奄美群島（諸島）でひそかに製造されていたようです。昭和28年に奄美群島の日本返還に伴い、日本の酒税法が適用されますが、当時の酒税法では黒糖を使ったものは焼酎と認められず、高い税率区分になりかねませんでした。そこで、島民の願いもあり、取り扱いに関して議論され、米こうじ併用を条件に、熊本国税局大島税務署の管轄区域（奄美群島の奄美大島・喜界島・徳之島・沖永良部島・与論島）に限って黒糖原料の焼酎製造を特別に認めました。このため、黒糖焼酎は奄美群島でのみ製造が許されている特別な焼酎となっています。

鹿児島初！ 11月1日は「本格焼酎の日」

焼酎ストリート Shochu Street 2016

11.1 TUE 17:30~20:00
・2 WED 17:30~20:00
・3 THU 11:00~17:30

場所　天文館本通り／天神おつきやひらも～る

県内113全ての蔵元の焼酎が１杯500円で楽しめます。抽選で本格焼酎のプレゼントも。「1万人でいっせい乾杯」や奄美出身の人気デュオ・カサリンチュのライブ、前園真聖さんのトークショーなども行います。

焼酎は おいしか！ だ

県・市町村合同企画　本格焼酎の日11月1日を前に、鹿児島の焼酎の良さにあらためて目を向けてもらおうと、県内自治体有志で組んだ合同特集です。

皆さんは「ダレヤメ」という言葉を知っていますか。鹿児島弁で「ダレ（疲れ）」を「ヤメ（取る）」。仕事の後、本格焼酎（以下、焼酎）を飲んで一日の疲れとストレスを癒やし、明日への活力を養う、鹿児島の晩酌のことです。

なぜ鹿児島にダレヤメ文化が根付いたのでしょうか。鹿児島大学の焼酎の専門家・鮫島吉廣（よしひろ）さん（68）に、その背景を尋ねました。

風土が生んだ「鹿児島」のお酒

「鹿児島は焼酎発祥の地。16世紀の大工の落書きに庶民のお酒として広まっていた記録が残っています。18世紀には当時高価な米の代わりに、安くて育てやすいサツマイモが使われるようになりました。さらに清酒作りに向かない暑い土地柄が、焼酎造りに合う麹菌の導入や製造法の工夫につながります。また奄美地方では、黒糖の産地ならではのサトウキビを原料にした黒糖焼酎が造られるなど、鹿児島独自のお酒として進化を続けてきたのです。

鹿児島の味付けは、しょうゆをはじめ甘くこってり。その味に合うのがすっきりとした『焼酎』。お湯割り、水割りなど自分の好みの濃さで、アルコール度数を変えて食中酒として楽しめる、世界的にも特に珍しい蒸留酒なのです。さらに鹿児島大学の最近の研究で、焼酎は『水やほかの酒よりも、食後の血糖値の上昇を抑える効果が高い』ことが分かりました。糖質やプリン体も含まず、まさに健康を考えて飲むなら焼酎が一番。

県内には113の蔵元があり、その数は日本一。各蔵元が作る豊富な銘柄と多様な味わいは、毎日飲むお酒として無限の楽しさを秘めています。

これらの素晴らしい要素が、私たちにダレヤメ文化を根付かせたのです」

焼酎を最高のおもてなしに

鹿児島県は焼酎文化で「おもてなし」を掲げる条例まで制定した、自他共に認める焼酎王国。体に優しい焼酎は、地域独自の歴史と文化がぎっしり詰まった最高の一品です。県外の人にぜひ焼酎の良さを伝え、こだわりの飲み方や多様な銘柄を勧めてください。皆さんのおもてなしが、鹿児島の魅力を高めてくれます。「ダレヤメ」が全国に広まる日を夢見て、今宵も鹿児島の焼酎で乾杯、しませんか。

鮫島吉廣（よしひろ）さん（68）

南さつま市出身。大手酒造メーカー勤務を経て、鹿児島大学教授、全国初の焼酎学講座を開講。同大焼酎・発酵学センター客員教授。同市在住。

INTERVIEW **森 万由子（まゆこ）さん（21）**
鹿児島市在住

芋焼酎のお勧めの飲み方は「お湯割り」。香りが立ち、鹿児島の料理の味を引き立ててくれます。黒ぢょかや薩摩切子、そらきゅうなどの酒器にも鹿児島ならではの歴史や文化が隠れていて魅力的ですね。焼酎を飲む人はみんな笑顔。人同士を結ぶすてきなお酒です。

2015ミス薩摩焼酎

INTERVIEW **﨑本 彩（さき）さん（21）**
鹿児島市在住

「黒“糖”焼酎だから糖質が多い」とよく誤解されますが、本格焼酎は全て糖質ゼロ。ダイエットにも最適です。黒糖焼酎は奄美地方でしか造られない特別なお酒。すっきりした味わいで、どんな割り方も合います。私は紅茶割りでよく楽しんでいますよ。

2015ミス奄美黒糖焼酎

※お酒は20歳になってから、適量で。
※飲酒運転は法律で禁止されています。
※妊娠中や授乳期の飲酒は控えましょう。

鹿児島の焼酎の魅力が分かる動画はこちらから

https://www.youtube.com/watch?v=c7iKH8H5Puo

鹿児島の本格焼酎の基礎知識

- 「本格」焼酎とは、麹にイモや黒糖などの主原料を加えて発酵を進め、できたもろみを単式蒸留器でじっくり蒸留して造られる、砂糖やアルコールなどの添加物が一切無い焼酎。原料の風味が豊かで、味わい深いのが特徴。
- 鹿児島の焼酎は「薩摩焼酎」として世界貿易機関（WTO）のトリプス協定で、地理的表示の産地指定を受けています。
- 昭和62年、日本酒造組合中央会が、新酒がおいしい季節の11月１日を本格焼酎の日と制定。平成19年には、奄美大島酒造組合が「こ・く・とう」と読める５月９、10日を奄美黒糖焼酎の日と制定。

七夕

旧暦7月7日にあたる8月9日、今年も村内の多くの家に七夕飾り（タナバタソー）が立ちました。旧盆を慣わしとする本村では集落内に色とりどりの笹飾りが立ち並び、お盆が近づいていることを教えてくれます。

本村でお盆といえば、七夕から一週間後に迎える旧盆（旧暦7月13～15日）を指します。お盆にこの世に戻ってくる先祖の霊は、この笹飾りを目印に降りてくるといわれており、先祖の霊（ソーロガナシ）が降り立つ迎え盆がきたら笹飾りの役目は終わり。集落を彩った笹飾りはあっという間に取り外されるのです。

奄美の七夕は、旧盆の考えと深く結びついており、本土で広く行われる織姫と彦星の七夕伝説を基にした風習とは一味違うといえるでしょう。

さらさらと風にたなびきながら、ご先祖様を導く役目を全うする夕ナバタソーです。

特集

神々が行き交うシマの夏

送り盆　三八月

いつもは遠い冥界にいるご先祖様たち。お盆の間だけ私たちとともに過ごしてくれます。その姿は見えないけれど、つかの間の再会にはたくさんのご馳走、なつかしい親類の顔、故人をしのぶ昔話にあふれます。送り盆の旧暦７月15日、ご先祖様と最後の挨拶を交わすように親類が集まりごちそうを食べます。その後、盆提灯を携えて墓地まで歩いてご先祖様を送ります。

夜間に人を見かけることすら珍しい集落墓地もこの日だけは例外。それぞれの家族がご先祖様を送りにくるため、集落一にぎわう場所となります。ろうそくと提灯の柔らかな明かりに包まれて幻想的な美しさです。

アラセツ　旧暦八月の最初の丙
シバサシ　旧暦八月の壬
ドゥンガ　シバサシ後の甲子
※今年は、アラセツ前夜（スカリ）が旧暦７月に入ったため、次の丙をアラセツとした市町村もあった。

アラセツ、シバサシ、ドゥンガの３つを三八月（ミハチガツ）といいます。アラセツには先祖や神様（コーソガナシ）を迎え、古くはシバサシとドゥンガに洗骨や改装を行っていたといいます。高祖祭りとも言われる三八月もお盆と同様に、先祖や神々を迎え、再び送り出すための風習だったのでしょう。

村内では、大棚、大金久、今里などシバサシに八月踊りを踊る風習が残る集落もあります。特に盛大に行われるのが、厄払いの願い込めて八月踊りを踊るキトバレ踊り（思勝集落）です。目には見えない先祖の霊や神様の存在を感じ取り、大切に敬ってきたからこそ、このような風習が続いてきたのでしょう。

目には見えないはずの神々。しかしアラセツに迎える神様には複数の目撃談があるのをご存じですか？それによると、この神様は白い着物を着て白い馬に乗って山から降りてきたのだとか。

神々をこの世に迎え、また一年のうちの世界へと送り出す。あちらこちらの世界へと送り出す。一年のうち旧暦７月から８月にかけてのこの時期は、神々が時空を超えて行き来する特別な時間。この奄美独特の世界観が夏の伝統行事を形作っています。

絶景みるなら大和村！

大和村絶景ドライブマップができました

夏の観光シーズンに合わせてこの7月、大和村では村内の観光ルートを紹介する「大和村絶景ドライブマップ」を作成しました。地域おこし協力隊の小海もも子さんが、発案から作成を担当。大和村が誇る自然豊かな絶景のほか、思勝港湾に住みつき姿を見せてくれるウミガメや今里の樹齢500年のフクギなど、これまでのガイドブックには掲載されていない隠れた名所も紹介。また村内で営業する施設や食堂、宿泊施設なども掲載されており、初めて訪れる人でも大和村をすみずみまで満喫できるよう工夫されています。マップには、大和まほろば館で販売するもソフトクリームやマテリャー茶屋で利用できる割引券がつくお楽しみも。空港をはじめ島内のホテル、レンタカー店などに配布されており、村外からの観光客を呼び込み、村の観光振興に期待が持てます。

大人顔負け一般質問

第４回子ども議会開催

第４回大和村子ども議会が8月2日に開催されました。村内の5、6年生児童から選ばれた8名の子ども議員が村当局に対して一般質問を行い、行政や議会の仕組みを学ぶ取り組みです。議長を務めたのは今里小学校の塩田琉人さん（6年）。子ども議員の堂々たる質問ぶりに、普段は議場にいる「おとな」議員の面々も傍聴席で真剣に聞き入っていました。質問では、壊れた遊具の修繕を求める意見や、お年寄りがいきいきと暮らすのに必要な買い物支援の具体的な取り組みを説明して欲しいといった意見、図書巡回車「クロウサギ号」の来校頻度を増やして欲しいなどの意見まで幅広く提起されました。なかでも防災センター図書室の利用についてなど学習環境の改善を求める意見が多く聞かれました。子どもたちの声に応えて、壊れた遊具は修理が早急に行われたほか、村当局からは前向きに検討する答弁が聞かれました。

今里集落 一足はやい豊年祭

悪霊を祓うシタン

8月21日、今里集落で十五夜豊年祭が開催されました。旧暦8月15日に開催されていた十五夜豊年祭は、今では前後の日曜に引き寄せて開催されていますが、人口減少が進む今里集落では、帰省者が多い夏休みに開催しています。トネヤ（神事を行う家）での祈祷が終わると力士たちは土俵へと向かいます（振り出し）。今里の振り出しは、島内でも珍しいものです。力士の列でひときわ目立つ「シタン」と呼ばれる男性。まわしとしめ縄を巻き、全身に墨をぬりつけた姿で刀を払う動作をして土俵まで歩きます。シタン役は毎年違う人がつとめることになっており、今年選ばれたのは、静岡から移住してきた岡本啓治さん（43歳）。岡本さんは、初めてのまわし姿のうえ大役をつとめることもあり、とても緊張したと語っていました。豊年祭は、集落ごとに特色があり、シマ（集落）独自の文化が花開き、現代まで保たれていたことがわかります。

歌って踊って厄払い

思勝集落のキトバレ踊り

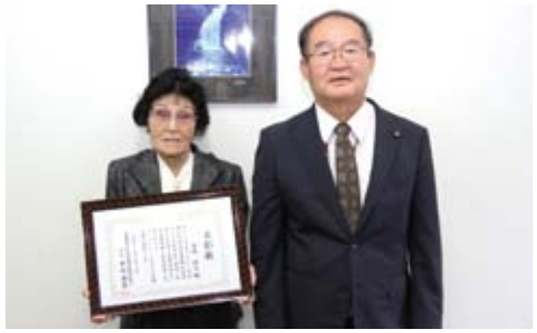
思勝集落で9月10日、第36回キトバレ踊りが開催されました。かつてアラセツとシバサシの両日に集落全戸をまわり八月踊りを踊っていた思勝集落ですが、人口減少などが原因で一時途絶えていた習慣を、青年団がキトバレ踊り（厄払い踊り）として復活させたものです。トネヤで神事を行った後、集落内の４会場で厄払いの八月踊りを踊ります。マイクを持った青年団員が威勢のよいかけ声で、場を盛り上げていきます。踊りの合間に披露されるお花（寄付）もまた見ものです。大音量のマイクを通して「金百万両いただきました！」とのアナウンスに続き花走りが始まります。花走りとは、指名された2名が、旗をもってチジンが鳴り止むまで走るというもので、会場はますます盛り上がります。老若男女がチジンを打ち鳴らしハト笛を吹き歌い踊る。厄も逃げだす賑やかな夜です。

戦没者追悼式

71回目の終戦の日を迎えた8月15日、大和村戦没者追悼式が行われました。会場の大和村防災センターには、およそ100名の遺族らが参列。一分間の黙祷を捧げ、大和村出身戦没者229人の冥福を祈りました。大和村長による式辞に続き、村議会議長と遺族会代表者が追悼のことばを述べ、関係者団体代表者らおよび各集落の遺族らが菊の花を手向けました。大和村生徒代表で参列した濱井友香さん（大和中3年）は、「こんなにたくさんの大和村出身者が戦争で亡くなった事を初めて知りました。戦争は二度と繰り返してはならないと思う」と話してくれました。

文化財保護に貢献

奄美群島文化財保護対策連絡協議会から濱崎玲子さん（大棚・81歳）に表彰状が贈られ、7月15日に役場で伝達されました。濱崎さんは、平成16年から12年間にわたり大和村文化財保護審議員として、大和村史の編集、村内の文化財保存活用および文化財思想の普及啓発に努められました。特に、ノロ祭事の神具である玉ハベラ、首飾り、龍緤胴衣の文化財指定に多大なる尽力をされた功績を認められ、今回の表彰となりました。濱崎さんは、平成2年から大棚集落のノロを継承され、ノロ祭事を執り行われています。現在大棚集落には濱崎さんを含め三人のノロ神様がいらっしゃいます。



三反園知事が来村

今年7月、任期満了に伴う鹿児島県知事選で初当選した三反園訓知事（58歳）が、9月12日に大和村役場を訪れ、大和村長をはじめ、村議会議員らと顔合わせを果たしました。三反園知事は、「今は、中央と地方の格差よりも、『やる気のある地方』と『やらない地方』の格差が問題だと感じている。地域が自ら考えた色々なアイディアを県に伝えてもらいたい。県と市町村が共に考え、より良い事業を作り上げ、地域を盛り上げていきましょう。」と語りました。同日、宇検村で「知事と語ろう車座対話」も開催され、大和村からも区長などの9名が参加しました。

大和まほろば館のウェブショップ開設

大和村の特産品を販売する大和まほろば館のウェブショップが開設されました。村外、島外にお住まいの方でもインターネットを通して大和村の特産品を購入ができるようになりました。

大和村のすももやタンカンを使った加工品の詰め合わせギフトが販売されています。ご自宅用はもちろん、贈答用にもご利用ください。送る相手の住所を指定すればウェブショップから直接相手に送付されますので、手間が省けて大変便利です。お支払いは、クレジットカード、銀行振り込み、コンビニ決済から選べます。お歳暮やご贈答にいかがですか。

ウェブショップ URL
https://amamiyamato.theshop.jp

地域おこし協力隊　小海もも子の ワンダー奄美 Wonder Amami 第2回

豊年祭めぐり／海のプラスチックゴミについて

晴れ着（浴衣）を着て、歌って踊ることは、世界共通のお祭りの楽しみ方ですね。

大棚の八月踊りに参加しました。盛り上がり方が集落ごとに違って面白いです。

津名久の三角浜です。この美しい海水をいつまでも守りたいですね。

ヒエン浜は特に漂着物が多く感じます。残念ながらこれでは観光客にお勧めできません。

こんにちは。大和村の地域おこし協力隊の小海もも子です。大和村に住み始めてから約5か月半が経ちました。暑い夏も過ぎて、もう朝晩は涼しいですね。

私は7～8月の間、観光客向けの大和村絶景ドライブマップを作ったり、まほろば館のウェブショップを開設したりしました。奄美の観光情報サイト「あまみっけ。」でも、嶺山公園やマテリヤの滝について書いているので、興味がある方はご覧ください。

現在、私は思勝に住んでいるのですが、初めて伝統行事のキトバレ踊りに参加しました。歌詞を覚えきれませんでしたが、内容は意外にロマンチックで、奄美の人は情緒豊かなのだなぁと感じました。来年はぜひ歌を覚えて参加したいです。9月11日の豊年祭では、開催した5つの集落で撮影させていただき、ありがとうございました。広報担当とこの秋に撮影した様々な行事の写真を使い、10月に大和村広報写真展を行います。詳細は下記にあるのでよかったら見に来てくださいね。

さて、奄美は海が綺麗です。天気が良い時に眺めるとため息が出るような色をしています。しかし、残念ながらゴミが目立つ浜も多いです。先日、ヒエン浜に行ったらたくさんのゴミが打ち上げられていました。ペットボトル、釣り道具、発泡スチロール、靴、歯ブラシなど海外から流れてくるものが多かったですが、もちろん日本製と分かるものもありました。

プラスチックは浜の景観を損なうだけでなく、海の生き物が食べて胃の中に溜まったり、体や口に絡まったりして死んでしまいます。さらに、波にくだかれた目には見えない大量の細かいプラスチックや洗顔料などに入っているマイクロビーズが、有害物質を吸着・濃縮した上で、魚介類を通して人間の体内に取り込まれている可能性があります。

奄美の海を見ていると信じられませんが、2014年の時点で、世界の海にいる魚とプラスチックの重量比率は5対1で、2050年には魚とプラスチックが同じ量になるのだとか。（引用：世界経済フォーラム2016年総会）

先進国では、プラスチックの使用を大幅削減したり、ペットボトルの使用を禁止したり、対策を始めています。奄美でも、美しい浜と、美味しくて安全な海の幸を子どもたちに残すために、プラスチックの使用をできるだけ減らし、ゴミ拾いを日常化することが大切と感じました。

Wonder Amami ワンダー奄美

大和村広報写真展 2016 秋
期間：2016年10月14日（土）～31日（月）
場所：防災センター1階ホール
内容：全集落の秋の行事や小学校の運動会など

大和診療所だより
Vol. 8

どぅくさむんがたり

小児の予防接種について

文／小川結実（小児科医師）

私たちは普段たくさんの細菌やウイルスと共存して生きています。その中には病気（感染症状）を引き起こすものもあり、重症化したり、感染する力が強く流行するものがあります。予防接種は、そのような感染症に対する免疫が弱い人に打つことで、感染や発病を予防したり、重症化を防ぐことを目的にしています。

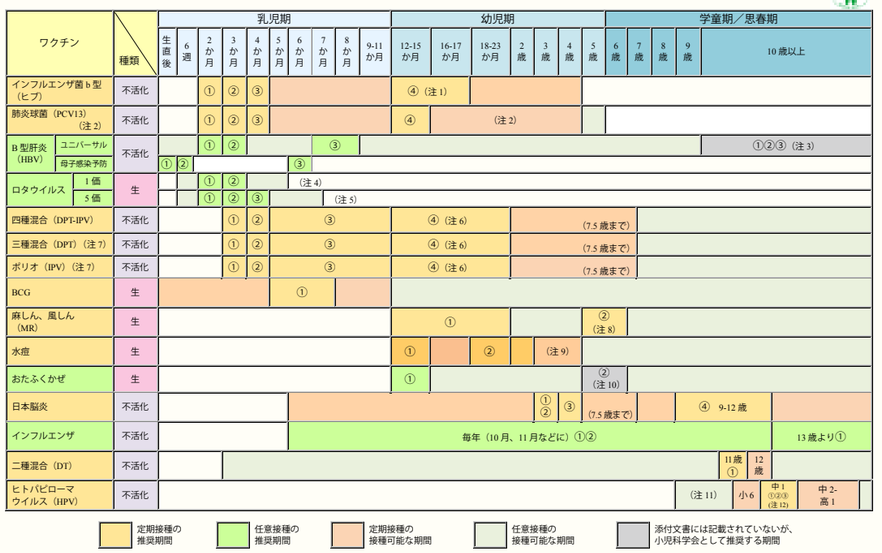
生まれたばかりの赤ちゃんは感染症に対する免疫力がとても弱く、成長に伴い徐々に免疫力を鍛えていきます。そのため乳幼児期は病気にかかりやすく、また、重症化もしやすい時期です。お腹の中にいるときに臍帯を通じて、また、生まれてからは母乳を通じてお母さんから病気への抵抗力（移行抗体）をもらっていますが、これも生後数ヶ月のうちに自然と減っていってしまいます。逆に生後数ヶ月経つと外出の機会は増え、病原菌との接触は増えていきます。予防接種スケジュールは、こうした状況や病気の流行、重症化しやすい年齢などを考慮して組み立てられています。標準的な接種時期の中でできるだけ早めに受けていきましょう。

現在日本で行なわれている予防接種には定期接種と任意接種があります。定期接種は法律によって種類、対象者、受けられる期間が決まっており、接種費用は公費負担（ほとんどの地域で無料）です。任意接種は法律によらず個人の意思で行うもの、定期接種に含まれる種類でもその対象年齢・期間外に受ける時で接種費用は自己負担となっています。自治体によっては助成されているものもあり、医学的に重要度が低いというわけではありません。

しっかりと免疫をつけるために同じ予防接種を何回か繰り返し受ける必要があるため、乳幼児期の予防接種回数はどうしても多くなります。その上予防接種は一度受けた後、次の接種まで一定の期間をあけることが法律で決まっているためつづつ接種していくとかなり時間がかかってしまい、病気を防ぎたい時期に間に合いません。そのため同じ日に複数の予防接種を打つ同時接種が行われています。

日本小児科学会の推奨している予防接種スケジュールを掲載します。接種開始時期が遅れてしまった、途中から接種を忘れてしまって何から打てばよいか分からないなどあったら相談してください。一緒にスケジュールを立てましょう。

日本小児科学会が推奨する予防接種スケジュール　2014年10月1日版　日本小児科学会



【文献 1】日本小児科学会
https://www.jpeds.or.jp/modules/general/index.php?content_id=92) KNOW VPD, http://www.know-vpd.jp/children/children_point.htm

重度心身障害者医療費助成のお知らせ

重度心身障害者医療費助成は、重度心身障害者の健康の保持増進を図り、福祉の向上に資するために行っています。受給資格を取得された方が医療保険制度（国民健康保険・社会保険等）を利用して医療を受けた場合、役場に申請されますと医療費が払い戻されます。

■対象者
・身体障害者手帳の1級、2級の障害者
・知的障害者で療育手帳のAと判断されている方
・身体障害者手帳の3級かつ療育手帳のB1と判断されている方

■受給資格者の登録
役場保健福祉課窓口で登録してください。
受給資格者証が交付されます。

■登録に必要なもの
・身体障害者手帳被保険者証
・印鑑
・本人名義の通帳

■申請するには、診察を受けた医療機関に重度心身障害者医療費助成支給申請書を提出して証明をもらった後、役場に申請してください。役場への申請は、保険給付等を受けた日の翌月から起算して6ヶ月以内に行ってください。

（例）1月に受診した場合、7月末日までに提出
審査の後、役場から助成金決定通知が届きます。
通知書の内容で受給者登録の際に指定された口座に振り込まれます。

■問合せ先
大和村役場保健福祉課
電話 0997（57）2218（直通）

奄美大島年金事務所からのお知らせ

奄美大島年金事務所では、予約制による年金相談を実施しております。年金のお受け取り等の手続きがお待たせすることなくスムーズにご相談できます。この機会に是非、予約による年金相談をご利用ください。

例えば…
・（老齢・遺族・障害）年金の請求に関すること
・年金額・支払額の内容に関すること
・年金の見込額に関すること（50歳以上）
・年金記録に関すること

【予約申込方法】
◇年金相談のご予約は相談希望日1ヶ月前からお電話または年金相談窓口でお受けいたしております。

◇ご予約を受付ける際には「相談者および配偶者氏名」「基礎年金番号」「電話番号」「相談内容」等について確認させていただきます。

【予約時間帯】
◇平日　9時～16時まで
◇毎週月曜日　9時～18時まで
◇第2土曜日　10時～15時30分まで

【予約申込電話番号】
◇0997（52）4341（1番の後に↓アナウンス後、2番をダイヤルしてください）
奄美大島年金事務所　お客様相談室

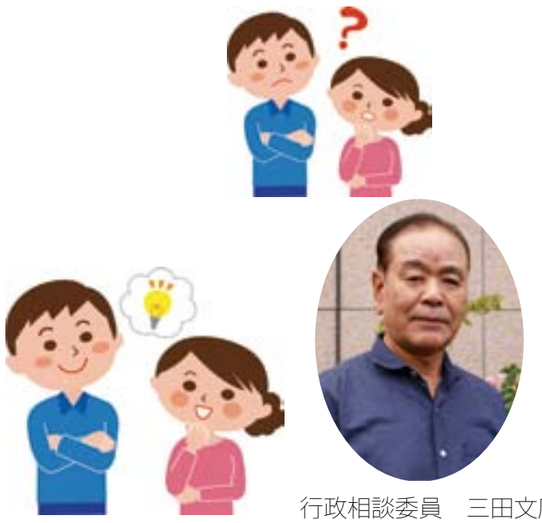
※電話の受付時間は8時30分～17時15分までです。
（土・日・祝日、12月29日～1月3日を除く）

行政相談委員に相談してみませんか？

毎日の暮らしのなかで、登記、年金、道路、社会福祉など行政に関する困りごとや要望などはありませんか？ 総務大臣委嘱の行政相談委員が皆様の相談相手として、役場のサービスや行政の仕組み、手続きに関する相談を受け付け、相談者への助言や関係行政機関に対する申し入れを行っています。

次のとおり、行政相談所を開設しますので、お気軽にご利用ください。また、自宅や電話でも相談に応じています。相談は無料で相談内容は堅く守られます。

■日時　平成28年10月20日（木）　9時～12時
■場所　大和村産業振興センター
■問合せ先
行政相談員　三田文麿
電話 0997（57）2387



行政相談委員　三田文麿

第16回あまみフォト農美展のお知らせ

奄美の農業農村のあり方について考え、提案しようという地域主導、住民参加によるキャンペーン活動を行っている「KAMあまみ21」（平井美保子会長）では、奄美独特の農業や農村の魅力を表現した写真展「あまみフォト農美展」を開催しています。今年度のテーマは「魅力ある農業と農村～頑張ろう！島の農業～」です。単写真の部と組み写真の部があります。実施要領など詳細は、大和村役場産業振興課までお問い合わせください。

■応募期間
平成28年9月1日（木）～10月20日（木）
午前9時～午後5時（土日祝日は除く）

■単写真の部　モノクロ・カラー　八つ切り以上

■組み写真の部　モノクロ・カラー　4枚以内
サイズ自由

■問合せ先
大和村役場産業振興課
電話 0997（57）2153（直通）
または
鹿児島県土地改良事業団体連合　大島事務所
電話 0997（52）7830

大浜マルシェ開催のお知らせ

タラソ奄美の竜宮では毎月第4日曜日に「大浜マルシェ」を開催しています。フリーマーケットや音楽ステージ、マッサージやアロマコスメ手作り体験など、多彩な催しがあり家族みんなで楽しめるイベントです。フリーマーケットでは出展者を大募集しています。手作りアクセサリーや雑貨、洋服、大和村産野菜など是非出店しにいらしてください。入場無料です。

■次回開催日時
平成28年10月23日（日）午前10時～午後5時
（雨天：タラソ奄美の竜宮館内）

■会場　大浜海岸・奄美海洋展示館前広場

■問合せ先　タラソ奄美の竜宮
電話 0997（55）6211

商業登記の手続きが変わります

株式会社、特例有限会社の登記手続きが変わります。本年10月1日から株主総会議事録や株主全員の同意書等を添付して、株式会社または特例有限会社の登記申請をする際に、株主の住所、氏名、持株数、議決権数とその割合などの証明書（株主リスト）の添付が必要になります。詳しくは、法務省のホームページでご案内しています。

■問合せ先
鹿児島地方法務局法人登記部門（担当　堤）
電話 099（259）0636
FAX 099（286）0979

法務局からのお知らせ

相続登記はお済みですか？相続登記をしていないと…

①相続登記を放置している間にさらに相続が発生すると、相続人の人数が増え、登記手続きや費用にかかる負担が増加します。

②不動産の売却やローンの設定に時間がかかります。

③所有者と連絡が取れず、土地の荒廃や、災害復旧および防災のための工事ができないなどの社会問題が発生します。

自分の権利を大切にするため、次世代の子ども達のために未来につなぐ相続登記をしませんか？詳しくは法務省ホームページ「未来につなぐ相続登記」を検索してください。

■問合せ先
鹿児島地方法務局
電話 099（259）0682

11月は不法投棄防止強化月間です

県では、産業廃棄物の不法投棄等の根絶を図るため、毎年11月を「不法投棄防止強化月間」と定めています。期間中は、不法投棄防止の啓発活動や不法投棄防止パトロール等を強化しています。不法投棄は重大な犯罪です。この機会に一人ひとりが、「不法投棄をしない。させない。見つけたらすぐ電話を」という意識を持ち、不法投棄のない住みよい地域をつくりましょう。産業廃棄物の不法投棄を発見したら、住民税務課までご連絡ください。

■問合せ先
大和村役場住民税務課
電話 0997（57）2127（直通）

こせきの窓

人口	1,562 人	（△ 36）
男	758 人	（△ 20）
女	804 人	（△ 16）
世帯	859 世帯	（△ 27）

8 月 31 日現在
（前年同月比）

島の宝　満1歳おめでとう

小浜　悠寿希（ゆずき）さん
父：雅寿さん　母：久美子さん（大和浜）

食べるの大好き、遊ぶのも大好き、笑顔満点の悠寿希（ゆずき）ちゃんです。

表紙写真の紹介

8月21日に行われた今里集落の豊年祭での一枚。中入りでは女性たちがチカラウバン（握り飯）を運びます。今里集落では浴衣姿の女性たちが花を飾った盆を頭上に掲げ土俵まわりを歩きます。祭りに色を添える場面です。集落ごとに特色があり、面白いですね。

「広報やまと」をスマホに配信！
広報紙がマチイロになりました！
マチイロ

ご結婚おめでとう
才原　貴大さん（国直）
對間　友美さん（横浜市）

お悔やみ申し上げます
宮田　美江　様（81歳・今里）
元野　アイ　様（90歳・大金久）
林　富納　様（89歳・今里）

香典返し（社会福祉協議会へ）
川畑　富善　様（故川畑和也様）
山田　健介　様（故山田範善様）
椛山　リエ子　様（故元野アイ様）
重野　広美　様（故林富納様）

ふるさと納税ありがとうございます
山田　末廣　様（愛知県）
石川　雅信　様（神奈川県）
満井　秀久　様（兵庫県）
小田　谷子　様（千葉県）
田川　ホズエ　様（川崎市）
福原　輝義　様（さいたま市）
小田　サエ　様（千葉県）
森山　俊六　様（兵庫県）

広報誌謝礼ありがとうございます
今井　秀文　様（知名町）
晨原　弘久　様（龍郷町）

～今里百年の計はここにあり～

カツオ漁こそが集落を興すすべだと確信した今里、志戸勘の有志30名がカツオ漁業組合を設立したのは明治34年のことです。当時村内で一番の人口を抱えた半農半漁の今里でしたが、これからは子どもの教育の時代だ、を合い言葉に奮い立ったのです。リーダーは血気あふれる30才の安楽赤坊氏。多額の準備金が必要なうえに、荒海での危険を伴うカツオ漁に当時の人々は冷ややかな反応を示すなか、安楽氏が孤軍奮闘し集めた人員でカツオ漁業が開始されたのです。

組合最初の帆と櫓を併用した蛭子丸（10トン）が成功したのをうけ、6艘が次々と参入。その後、時代の流れとともに発動機動力船へと姿を変え、大正時代には大和村の漁獲高の実に90％をカツオが占めるまでに発展しました。今里カツオ漁業は社会情勢の変化を受けて昭和39年にその歴史に幕を下ろすまで63年間、荒波と時代の波に奮闘し続けました。家族のため、子どもの教育のため、自分の犠牲をいとわず大海にいどみ続けた男たちの背中を見て育った子どもや孫は向学心に富み、多くの事業家、教育者を輩出したと語り継がれています。

故郷を離れ厳しい環境での労働で今里独自の労働歌が生まれました。そのうちの一つが下の網子唄（あみのこうた）です。離ればなれになった男女の切なさ、激動の時世からも取り残されたような寂しさ、そしてなにより今里青年（ねせんぎや）の誇りを感じさせる唄です。

シリーズ

大和村産業遺産

第2回

今里カツオ漁業

眞漁丸（船長 元井峯租志氏）昭和25年

網子唄（あみのこうた）

作詞作曲　中元文雄

一、ぼくらの育ちは今里で
親の代からカツオ釣り
世間も知らず世も知らず
田舎育ちの悲しさよ

二、口では非常時と言うけれど
日本の国策どんなやら
聞かず知らずで日を送る
これでも大和の男子かな

三、今は瀬戸内とり瀬にて
あの娘と別れて餌捕りに
あったら青春浜育ち
思うはあの娘のことばかり

四、ヤドリ暮らしの寂しさに
冗談ばかりで日を送る
たまには彼女よ便りをば
送ってくれよと念じつつ

五、よいしょよいしょの餌捕りは
今里青年（ねせんぎや）の腕だめし
沖の潮風身にしみて
きたえよこの腕この体

六、今の海国男子とて
世に出る時は遠からず
ともに行こうぜ国の為
佐世保海軍水兵に

←バーコード読み取り機能付き携帯電話をご利用の方はここから大和村ホームページ携帯サイトへ簡単にアクセスできます。それ以外の方は直接URLを入力してアクセスしてください。
（http://www.vill.yamato.lg.jp/i/）

発行・編集 大和村役場総務企画課
〒894-3192 鹿児島県大島郡大和村大和浜100番地
TEL 0997-57-2111　FAX 0997-57-2161
mail:info@vill.yamato.lg.jp
http://www.vill.yamato.lg.jp